

# WebOTX Application Server 必要ライセンス数の基本的な考え方 ～ Standard / Enterprise 編 ～

2017年12月

NEC

クラウドプラットフォーム事業部

# Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。  
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

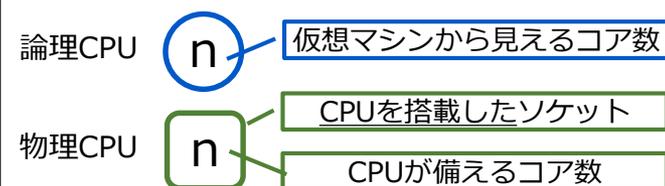
NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ  
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、  
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、  
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、  
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

# サマリ

本書はWebOTX Application Server Standard / Enterprise V9以降の必要ライセンス数の考え方について、質問の多いパターンを中心にまとめたものです。

1. 基本的な考え方
2. 仮想環境・クラウド環境の考え方
3. 待機系の考え方
4. ボリューム・ライセンスの考え方

## 凡例・表記



もっと詳しく知りたい場合は、

WebOTX製品のライセンス方式 V9/V10編

<http://jpn.nec.com/webotx/download/proposal.html#license>

WebOTX Application Server 価格・型番一覧

[http://jpn.nec.com/webotx/appserver/product/price\\_as.html](http://jpn.nec.com/webotx/appserver/product/price_as.html)

それでもよくわからない場合は、

WebOTX製品問合せ窓口 <[info-webotx@isd.jp.nec.com](mailto:info-webotx@isd.jp.nec.com)>

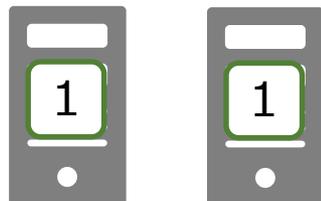
# 1. 基本的な考え方

💡 必要ライセンス数は、**2コア毎に1本**。  
サーバあたりのコア数÷2 で端数が出る場合小数点以下を**切り上げる**。

➡ MS Excelの計算式で表すと

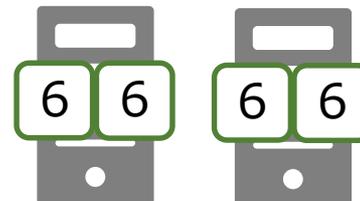
	A	B
1	<b>必要ライセンス数</b>	<b>=ROUNDUP(B2/2,0)*B3</b>
2	サーバあたりのコア数	1
3	サーバ台数	2

1CPU×1コア×2台の場合



<b>必要ライセンス数</b>	<b>2 [本]</b>
サーバあたりのコア数	1 [コア/台] = 1[CPU] × 1[コア/CPU]
サーバ台数	2 [台]

2CPU×6コア×2台の場合



<b>必要ライセンス数</b>	<b>12 [本]</b>
サーバあたりのコア数	12 [コア/台] = 2[CPU] × 6[コア/CPU]
サーバ台数	2 [台]

WebOTX Application Server Standard や Enterprise に諸元制限はありません。

## 2. 仮想環境・クラウド環境の考え方



**仮想マシンに割り当てるコア数・論理CPU数を基に算出。**  
割り当てコア数が変動する場合、**割り当て得る最大のコア数**で考える。



仮想マシンから見えるコア数のみを基に考える

コア数が12の物理サーバ上に、**4コア**を割り当てた仮想マシンを1つ起動



必要ライセンス数	2 [本]
サーバ当たりのコア数	4 [コア/VM]
サーバ台数	1 [VM]

コア数が12の物理サーバ上に、通常は2コア割り当てだが、**繁忙期は6コア**を割り当てた仮想マシンを1つ起動



必要ライセンス数	3 [本]
サーバ当たりのコア数	6 [コア/VM]
サーバ台数	1 [VM]

### 3. 待機系の考え方



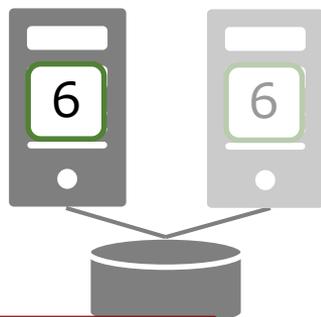
**WebOTXを同時に起動させ得る台数を**基に算出。

同時に動作しないならば、**待機系マシンのライセンスは不要。**



待機系マシンのライセンスが不要にできるのは、同時にWebOTXが起動しないことが明確な場合のみ

#### 1CPU×6コア×2台の稼働待機構成



同時に起動し得る台数 = 1

必要ライセンス数

3 [本]

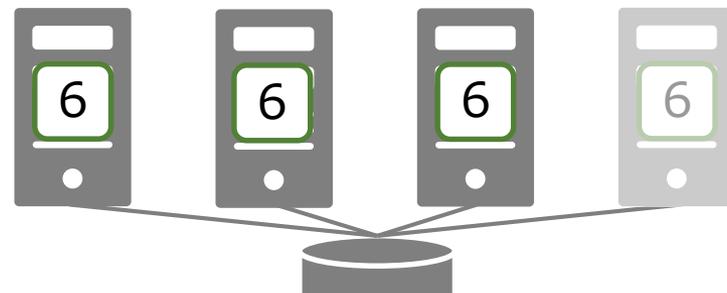
サーバ当たりのコア数

6 [コア/台]

サーバ台数

1 [台]

#### 1CPU×6コアマシンのN+1構成 最大同時稼働数は3台、最小は1台



同時に起動し得る台数 = 3

※最小の同時稼働数は考慮しない

必要ライセンス数

9 [本]

サーバ当たりのコア数

6 [コア/台]

サーバ台数

3 [台]

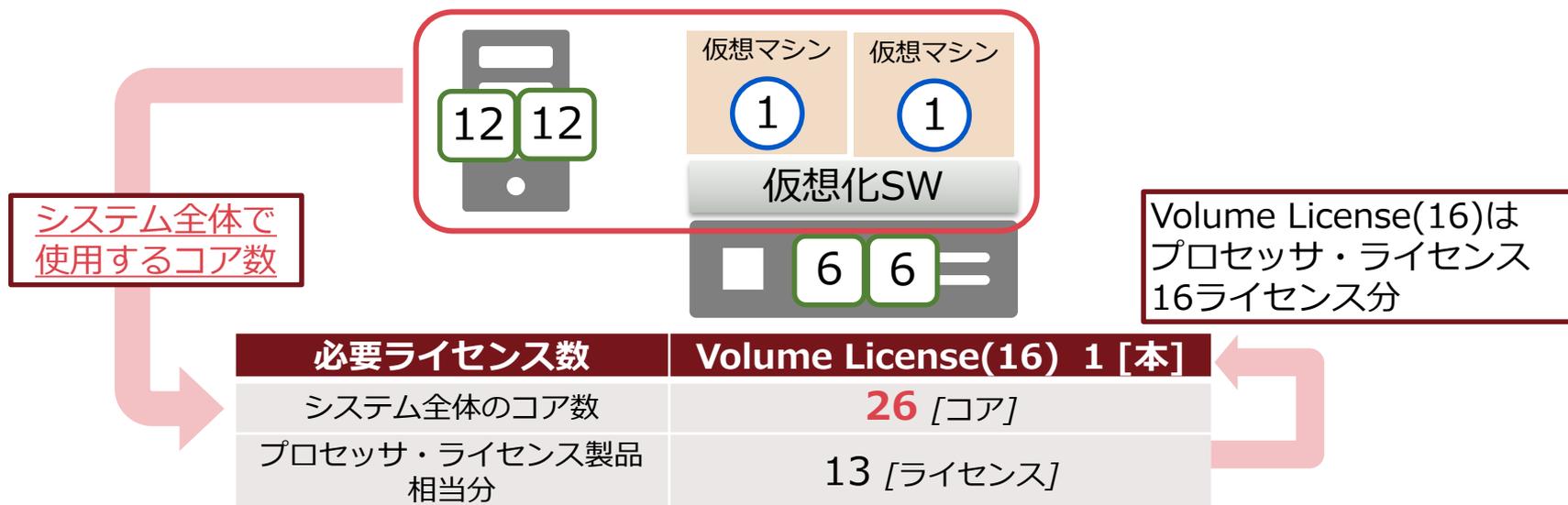
## 4. ボリューム・ライセンスの考え方

💡 必要ライセンス数は、システム全体のコア数を基に算出。  
仮想環境では仮想マシンから見えるコア数のみを基に考える。

➡ MS Excelの計算式で表すと

	A	B
1	必要ライセンス数	<b>=ROUNDUP(B2/2,0)</b>
2	システム全体のコア数	26

2 CPU×12コア×1台、1コア割り当ての仮想マシン2台構成



システム全体のコア数で算出できるのはボリューム・ライセンスのみ。  
プロセッサ・ライセンスを購入する場合は、インストール単位に計算するため14ライセンスになることに注意。

 **Orchestrating** a brighter world

**NEC**